

第2次千葉県歯・口腔保健計画 指標一覧

No	現行計画の状況					国の基本的事項に関する目標	第2次計画	
	指標	現行計画の目標値	実績(直近値)	達成状況	第2次計画(案)		目標設定根拠	
1 乳幼児のむし歯予防等	3歳児におけるむし歯のない者の割合の増加	85%以上	84.0% (H28)	○	●	90%以上	国の目標値(H34年度)と、既にう蝕のない者の割合が高率に達していることから、実現可能性を考慮して設定。	
	3歳児の県平均と最も高い市町村のむし歯有病者率の差を縮小	15%以内	18.2% (H28)	○		×	国の目標「3歳児でう蝕がない者の割合が80%以上である都道府県の増加」に統一するため、削除。	
	3歳までにフッ化物歯面塗布を受けたことのある者の割合の増加	75%以上	69.4% (H29)	○		×	データの把握及び分析は今後も行っていくが、指標からは削除。	
	間食として甘い食品・飲料を1日3回以上飲食する習慣を持つ者の割合の減少	1歳6か月児 5%以下	8.2% (H29)	○		×		
	毎日保護者が仕上げ磨きをする習慣のある者の増加	1歳6か月児 100%	97.4% (H29)	○		×		
	3歳児でむし歯がない者の割合が80%以上である市町村の増加	32市町村	36市町村 (H28)	◎	●	54市町村		年々、該当市町村数が増加していることを考慮して設定。
7 児童生徒のむし歯予防等	12歳児(中1)の1人平均むし歯数の減少	0.6本以下	0.81本 (H28)	○	(●) う蝕のない者	0.6本以下	現行計画で目標未達成であり、実現可能性を考慮して引き続き「0.6本以下」を目標とする。	
	12歳児の県平均と最も高い市町村の1人平均むし歯数の差を縮小	1本以内	1.52本 (H28)	○		×	国の目標「12歳児の1人平均う蝕数が1.0未満である都道府県の増加」に統一するため、削除。	
	児童生徒における歯磨剤使用者の割合の増加	小学校第1学年	100%	91.5% (H29)	×		×	データの把握及び分析は今後も行っていくが、指標からは削除。
		小学校第4学年	100%	95.9% (H29)	×		×	
		中学校第1学年	100%	97.1% (H29)	○		×	
		高等学校第1学年	100%	98.6% (H29)	○		×	
	児童生徒において過去1年間に個別的歯と口腔の清掃指導を受けたことのある者の割合の増加	15歳～19歳	50%以上	42.0% (H27)	○		×	
	週1回以上鏡で自分の歯や歯肉の状態を観察する習慣の増加	小学校第4学年	60%以上	50.2% (H29)	○		×	
		中学校第1学年	60%以上	37.7% (H29)	△		×	
		高等学校第1学年	60%以上	30.9% (H29)	×		×	
	歯間部清掃用器具を使用している者の割合の増加	中学校第1学年	60%以上	31.1% (H29)	○		×	
		高等学校第1学年	60%以上	26.7% (H29)	○		×	
	12歳児(中1)の1人平均むし歯数が1.0未満である市町村の増加	54市町村	35市町村 (H28)	○	●	54市町村	現行計画で目標未達成であったため、引き続き「54市町村」を目標とする。	
20 成人及び高齢者の歯周病予防、歯の喪失防止	80歳で20本以上を有する者の割合の増加 ⇒2次計画:「80歳以上で～」	35%以上	34.3% (H27)	○	● (80歳)	50%以上 (80歳以上)	80歳の状況を把握できないため、「80歳以上」に変更する。	
	1人平均現在歯数の増加	30歳代	28本	26.3本 (H27)	○		×	
		40歳代	27本以上	26.1本 (H27)	○		×	
		50歳代	25本以上	24.9本 (H27)	○		×	
		60歳代	22本以上	21.8本 (H27)	○		24本以上	
		70歳代	17本以上	19.9本 (H27)	◎		22本以上	
		80歳代	14本以上	15.1本 (H27)	◎		×	
	60歳代における咀嚼良好者の増加	80%以上	66.5% (H27)	×	●	80%以上	国の目標と整合性を取ることに、 現行計画の目標が未達成であることから、引き続き目標とする。	
	40歳代で喪失歯のない者の割合の増加	75%以上	57.9% (H27)	○	●	75%以上		
	進行した歯周炎を有する人の割合の減少	40歳代	20%以下	45.0% (H28)	×	●	20%以下	悪化傾向にあり、重点的に取り組むべき内容であるため、引き続き目標とする。
		50歳代	30%以下	48.9% (H28)	×		30%以下	
		60歳代	45%以下	53.5% (H28)	×	●	45%以下	
	歯間部清掃用器具を使用している者の割合の増加	20歳代	60%以上	25.7% (H27)	△		×	20歳代及び30歳代の状況も把握していくが、目標としては歯周炎のリスクが高まる年代に絞る。
		30歳代	60%以上	35.3% (H27)	×		×	
		40歳代	60%以上	42.8% (H27)	×		60%以上	
		50歳代	60%以上	48.4% (H27)	×		60%以上	
定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている者の割合の増加 ⇒2次計画:「過去1年間に～」	20歳以上	60%以上	53.9% (H27)	○		65%以上 (過去1年間に)	生活習慣アンケート調査の質問項目に合わせて、「定期的に」⇒「過去1年間に」変更する。	
	定期的に歯科検診を受けている者の割合の増加 ⇒2次計画:「過去1年間に歯科健診を～」	20歳以上	60%以上	58.0% (H27)	○	● (過去1年間に)	65%以上 (過去1年間に)	国の目標「過去1年間に歯科健康診査を受診した者の増加:65%」に合わせて、目標値設定。
喫煙する者の割合の減少	成人男性	20%以下	25.1% (H27)	○		20%以下	現行計画の目標が未達成であることから、引き続き目標とする。	
	成人女性	5%以下	8.4% (H27)	○		5%以下		
41 障害者の	障害者支援施設及び障害児入所施設における定期的な歯科健診の実施率の増加	—	98.0% (H29)	—	●	100%	「第六次千葉県障害者計画」との整合性を取る。	
42 環境整備	在宅患者訪問診療(居宅)実施歯科診療所の増加	—	342箇所 (H26)	—		460箇所	平成26年度調査で、人口10万人対の訪問診療を行う診療所数を全国平均並みにする。	
43	就業歯科衛生士数の増加(人口10万対)	—	79.6 (H28)	—		97.6	平成28年度の全国平均値(人口10万対)を目標値とする。	

【達成状況】 ◎達成、○改善傾向、△変化なし、×悪化傾向